

講演・研修会の御案内

二つの研修会が、聾学校を会場に行われます。どなたでも参加できます。

移動母子教室（聴覚障害者教育福祉協会 主催） 講演会

演題 『特別支援教育における聴覚障害教育の在り方について』

講師 秋谷 義一 先生

(東京都立杉並ろう学校長、品川ろう学校長、立川ろう学校長を歴任、現在、杉並区教育委員会事務局特別支援教育担当副参事)

期日 2008年12月19日(金) 9:30～11:00

会場 松山聾学校 (寄宿舍一階 娯楽室)

四国教育オーディオロジー研究協議会 講演会

講演 『乳幼児における聴覚の発達』

講師 澤田 道夫 先生 (広島市こども療育センター難聴幼児通園施設山彦園 元園長)

聴覚障害児にとって乳幼児期は、ことばが生まれ、使い始める時期として大変重要な時期だと考えられています。そのため、これまでも早期教育相談等で補聴器を装用しての聴覚・言語の指導が実践され、子どもたちが聴覚を活用し、言語を獲得するための礎が作られてきました。また、保護者への支援も同時に実践することで、家庭で子どもを支援する道筋作りも行われてきました。そのような乳幼児への早期支援や保護者支援の実際の様子について、就学後の子どもが学ぶ学校現場でも、知られていないことも多いのかもしれない。

澤田道夫先生は、難聴幼児通園施設「山彦園」の創立以来、聴覚に障害のある乳幼児の相談・支援にかかわってこられました。子どもと母親の関係発達の観点、BOAやCOR等の聴力検査を通じた聴覚評価、そしてそれらに基づいた上で子どもや家族への支援について、先生の豊富な経験から具体的なお話を伺えるものと思います。講演を通して、我々の日々の子どもののかかわり方を見つめ直し、早期教育における支援の場からそれらを学ぶよい機会にしたいと思います。

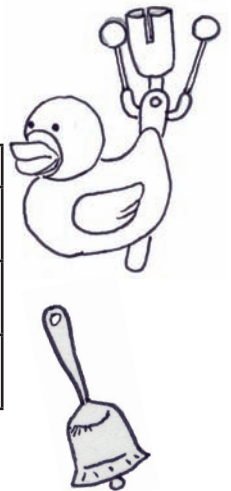
期日 2008年12月20日(土) 10:00～15:00

会場 松山聾学校 (寄宿舍一階 娯楽室)

日程

10:00～10:30	受付(寄宿舍玄関)
10:30～11:10	実践発表「小学部における音楽教育の実践について」 愛媛県立松山聾学校教諭 中矢 温子 先生
11:10～12:10	講演「乳幼児における聴覚の発達」
13:10～14:40	広島市こども療育センター難聴幼児通園施設山彦園 元園長 澤田 道夫 先生
(12:10～13:10)	昼食・休憩) 昼食は御持参くださるか、受付時のお弁当販売を御利用ください。
(14:40～15:00)	質疑・応答)

参加費 会員は無料 (会員外は 1,000 円)



カレンダーワークにどうでしょう？

今年も残すところ一月となりましたね。新年から使うカレンダーにも一工夫あれば、家庭でも、「きのう」「きょう」「あした」や、週、行事予定などの学習ができます。幼児さん向けに使

えるカレンダーを二つ紹介してみます。

どちらも Web での、オンライン販売をしています。季節物ですので、注文はお早めに。

2009 年 カレンダーワークキット

聴覚障害児のためのカレンダーワーク用に作られたものです。カレンダー、行事や天気の色紙 10 シート、週や曜日、今日・あした・あさってなどを透明シートや厚紙シートなどを使って覚えます。一年の概念を学ぶ 1 月スタートのもの、4 月(年度)スタートのものが選べます。また、ひらがなと漢字版の選択もできます。

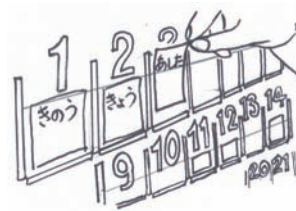


サイズ
縦 25.0cm、
横 34.5cm (とじた状態)
で、スプリング綴じ

田中美郷教育研究所 ノーサイドクリニック
<http://www.nosideclinic.org/index.html>

ビニールポケットカレンダー 2009 年版

表面に透明ビニールシートがあり、1日ずつ区切られたポケットがついています。ポケットに、「きょう」「あした」などのカードや、絵・写真カードを自由に入れて 1 ヶ月の予定をあらわせます。



サイズ
カレンダー : W210 × H297mm
ポケット : W65 × H90mm

株式会社アクセスインターナショナル
<http://www.accessint.net/index.html>

書籍紹介

■ 『発音発語がきれいになるまで』

今西 昭三郎 定価 2,000 円

60 年間の発音発語指導の経験から、指導方法や指導に必要な必要な事柄を、まとめられたものです。

90 ページの小冊子ですが、各音の具体的指導は、実践的で、密度の濃い内容となっており、とても参考になります。発音指導にかじった先生なら、納得のいく内容です。

近年、人工内耳装用のお子さんの増加で、聾学校での発音指導を必要とするお子さんも増えてきているので、発音指導を継承発展させていく上でも貴重な文献ではないでしょうか。



■ 『JOHNS』 9月号 (2008 September Vol.24 No.9) 東京医学社 定価 4,800 円

医療に携わる方々向けの月刊誌ですが、特集が「補聴器と人工内耳—最近の進歩と将来展望」となっています。

各種補聴器と将来のあるべき姿、フィッティング方法の実際、補聴器と事故、周辺機器…広範囲の内容が、多数の専門家によって執筆されています。フィッティングをする方向けの専門書です。